



日本羽毛製品協同組合

日羽協ニュース

[編集発行] 日本羽毛製品協同組合

[事務局] 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-12-4白鷺ビル7階

TEL 03-5649-2285 FAX 03-5649-2286 ホームページ <http://www.nichiukyo.org>

羽毛製品講演会を開催いたしました。

日本羽毛製品協同組合(以下日羽協)では、平成24年12月7日(金)羽毛製品講演会を開催し、組合員・賛助会員・関係団体45社から85名が来場しました。開会に際し、日羽協理事長柳場弘より挨拶があり、続いて日本体育大学・大学院教授、井川正治氏により、「健康睡眠」と題し講演がありました。



井川正治氏による
基調講演

基調講演「健康睡眠」要旨

寝具に対して多くの基準が定められ、製品の質の確保が図られています。その寝具を使っているのはヒトであり、寝具はヒトが使ってなんぼかということです。睡眠研究は多くなされていますが、日本睡眠学会等では睡眠障害についての研究が主で、健康人の睡眠の質の確保についての研究はまれであります。我々の日本睡眠環境学会では「健康睡眠」を提唱し、健康な人々のより良い睡眠を求めて研鑽しています。本学会ではレギュラトリーサイエンスの立場より睡眠を考えるようにしています。つまり、ヒトがセンサーとなり寝具を評価する方法を推進しています。品質の良い寝具が全てのヒトに良い睡眠を提供で

きるのかと言いますと、そうではないのです。人それぞれで、その人にあった寝具を考えなければなりません。そのためにはテーラーメイドな寝具を提供することを考えていかなければならないでしょう。寝具の質の確保も重要ですが、個々人にあった質というものもあると思います。そのような基準値を模索し、人それぞれにあった寝具情報を提供できるようにしていかなければならないでしょう。今後の業界の発展に寄与できるよう日本睡眠環境学会も努力し、皆様の健康的な睡眠を提供できるよう頑張りますので、共に研鑽を重ね「健康睡眠」の普及・推進へ邁進致しましょう。

羽毛製品アドバイザー派遣を行っております

【羽毛ふとんの知識啓発事業】

日羽協では、消費者関係機関等において、消費者の皆様を対象として実施されている消費者講座などに、「羽毛製品アドバイザー」を派遣し、「羽毛製品の正しい知識、選び方、取扱い方」などの疑問にお答えすると共に、羽毛製品を正しくご理解をして頂く活動を実施しており、既に参加された受講者の方々から好評頂いておりますので、是非ご利用くださいますようご案内申し上げます。

1. 主な講座内容

羽毛製品（羽毛ふとん、ダウンウェア関係）の品質と価格、製品の選び方及びリフォームなど羽毛製品全般

2. 講師派遣に関する費用及び人数

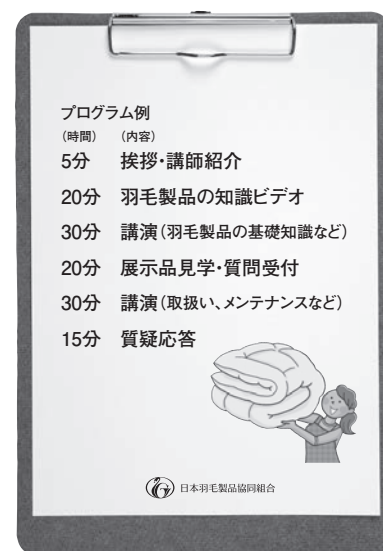
講師派遣に関する費用は無料。ただし、会場設営等に関しては、主催者側でお願い致します。参加者人数は、約20名以上。講演時間は、約120分程度です。

3. 講師派遣申込み方法

当組合にご連絡ください。開催ご希望日、場所等に応じアドバイザーを派遣致します。

各消費者関係機関での通年行事として、定期的な講演も承ります。

電話 03-5649-2285



最近の講師派遣実施日

主催／場所

平成24年1月21日

熊本消費者協会（熊本市現代美術館会議室）

平成24年3月12日

川越市生活情報センター（川越アトレ）

平成24年3月29日

沖縄の産業と眠りの関わりシンポジウム（沖縄県立美術館講堂）

日羽協認定
羽毛製品アドバイザー

私たちが
お伺いいたします。



三陽羽毛(株)
草田 吉比朗



東洋羽毛工業(株)
佃 光明



正絹羽毛ふとん(株)
立花 功



(一財)カケンテストセンター
山田 恒久



河田フェザー(株)
河田 昌浩



(株)マルゼン
善林 隆充



飛鳥貿易(株)
遠藤 理枝



西川ローズ(株)
上山 清和



(株)彌生
井坂 正人



富士新幸(株)
鶴田 敏浩



東陽産業(株)
小林 裕三



大恒リビング(株)
小俣 礼



(株)新津
新津 利子



(株)イワタ
堀田 康夫



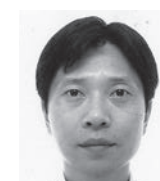
日本羽毛製造(株)
森田 啓



浅尾繊維工業(株)
石川 寛



(株)アイワ
向山 良仁



アンドウ(株)
生方 昌弘



榎本絹綿(株)
榎本 基治



(株)グートン
出口 雅昭



(株)暮らしの生活館
田中 宏明



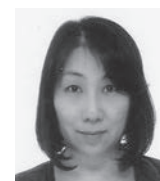
(株)西川リビング熊本
藤田 貢



(株)丸八真綿
岡本 八大



メルクロス(株)
西川 宗行



(株)伊藤清商店
伊藤 昌美



カネヨウ(株)
水田 真



(株)First Line
天久 龍男



メルクロス(株)
萱場 恵莉子



(株)丸八真綿販売
阿部 由紀

羽毛ふとんのお手入れしてますか？

どれだけ品質の高い羽毛ふとんも、日頃のお手入れが大切です。

とはいっても、難しいことはありません。

いつまでも心地よい眠りを得られるためにも、正しい知識でのお手入れが長持ちの秘訣でもあります。

Q. 羽毛ふとんは日に干してもいいの？

羽毛は吸湿・発散性に優れているため、他のふとんのように頻繁に干す必要はありませんが、月に1～2回、カバーをかけて表と裏あわせ1～2時間程度の日干しをおすすめいたします。

また長期間使用しない時には日干しに加えて通気性の良いケースで保管頂くと羽毛の品質を損なわず、本来のふとんの機能が長持ちします。



Q. 羽毛ふとんは家庭で洗濯できる？

ご家庭で洗濯した羽毛ふとんは乾かすのに時間がかかり、湿った状態が長時間に及ぶと衛生上も良くありません。

また、洗濯機への負担も少なくありませんのでご家庭で洗うことは避け、専門の設備のある業者に依頼されることをおすすめいたします。



Q. 古くなったら羽毛ふとんはどうすればいいの？

羽毛ふとんは、他のふとんに比べて耐久性が長い寝具です。お使いになる間に側地が傷できます。また中の羽毛も多少かさの減少はあっても十分に再利用できます。このため、羽毛の洗浄・側生地との交換、必要であれば羽毛の追加（足し羽毛）をすることにより、お手持ちの羽毛ふとんを新しい羽毛ふとんによみがえらせることができます。これをリフォームと言います。リフォームをお考えのときは、ご購入したふとん店または当組合のリフォーム認定工場にご相談ください。リフォーム認定工場は当組合のホームページにも掲載されています。



リフォーム前



リフォーム後

ふっくら羽毛ふとんへのお誘い

永年お使いのあなたの羽毛ふとん、買った時より

「膨らみが少なくなった」「温かくなかった」と感じませんか？

毎日使う羽毛ふとんは少しずつ膨らみがなくなってきます。

5年以上お使いの場合、側生地が傷んできたり、外からは見えないので分かりにくいのですが羽毛がかなり汚れていたり、羽毛のダウンボールが傷んだりします。

羽毛ふとんリフォームはふとんを解体し、水洗いを行います。羽毛の汚れを取り除き必要に応じて新しい羽毛を補充した上で新しい生地で仕立て直し加工をすることで買ったときとほとんど同じ羽毛ふとんによみがえります。

その他に側生地だけを交換するリフォームもあります。



あなたの羽毛ふとんは大丈夫ですか？



次の7つの質問をチェックしてみてください。

- ☐ 羽毛が片寄ってきた
- ☐ 買った時よりふとんのふくらみが、なくなってきた
- ☐ 生地から羽毛が出てくるようになった
- ☐ 汗などでふとんがベタつき、臭いが気になる
- ☐ 生地が色あせたり、衿周りが汚れてきた
- ☐ 買ったときよりも温かさがなくなったような気がする
- ☐ もう5年以上使っている

いくつチェックマークがはいりましたか？
一つでもお心当たりのある方には
⇒羽毛ふとんのリフォーム（羽毛の打ち直し）をオススメします♪



プレミアム ダウンウォッシュ仕上げ



Premium Down Wash

日本羽毛製品協同組合

プレミアムダウンウォッシュ仕上げ

ふとんを解体し、中の羽毛を個別（袋に入れた物は除く）に専用洗浄機で水洗いし、羽毛の汚れを取り除き、必要に応じて新しい羽毛を補充した後に、新しい生地で仕立て直し加工をしたものです。

ダウンウォッシュ仕上げ



Down Wash

日本羽毛製品協同組合

ダウンウォッシュ仕上げ

水を使用して羽毛の汚れを取り除き必要に応じて新しい羽毛を補充した後に、新しい生地で仕立て直し加工をしたものです。ただし何れかの工程でふとんの解体を行うものです。

ふとん生地交換仕上げ



Cloth Exchange

日本羽毛製品協同組合

ふとん生地交換仕上げ

ふとんを解体し、中の羽毛を洗浄せず（スチーム処理を含む）、必要に応じて新しい羽毛を補充した後に、新しい生地で仕立て直し加工をしたものです。

グースとダックの 農場からのレポート



羽毛原料需給動向について

今期の羽毛原料相場の状況をご報告いたします。世界の羽毛原料相場は昨年と同様、高値で推移しております。特にグース原料は需要に対して供給が追いつかない状況で価格の高騰を招いています。

グース原料の品不足の原因として、中国国内におけるダウンジャケット、羽毛ふとんの需要の増加が挙げられます。都市部を中心に羽毛ふとんの普及率は近年上昇しており、中でもグースを使用した「軽くて、温かい」ハイダウン商品の人気が高まって来ています。

反対に供給量の減少原因として、中国と欧州における食肉価格の影響が挙げられます。近年、中国における豚肉、鶏肉の価格が下落しその影響からダック、グース肉も価格が下落しております。反対に飼料価格は高騰しているため、飼育農家は飼育量を減らさざるを得ない状況のようです。又、ヨーロッパにおいても動物愛護から『フォアグラ』の為の飼育を制限しており

グースの飼育量は激減している状況です。

結果として、需要の増加にもかかわらず、グース原料の供給量が減少してしまったのが価格高騰の主たる要因と思われます。

こうした羽毛原料の需給関係を見ていると、羽毛原料は有限資源なのだということを改めて認識させられます。寝装業界としても限りある資源である羽毛原料を消費者に永く、快適にお使いいただけるよう品質の向上と安定化に努力していかなければならないでしょう。



イメージ

羽毛ふとん側地の基本知識

羽毛ふとん用生地とは？

寄稿：ふとん地流通協会

羽毛ふとん用の生地とは羽毛が抜けにくいように特殊加工処理されている高密度打ち込み織物（生地）で中に羽毛を充填しても羽毛の吹き出しがなく使用できる生地です。ただし、羽毛ふとんの生地であっても羽毛がまったく抜けないということはありません。ご存知のように、羽毛は使用方法・使用条件によっては傷むことがあります。そうして傷んだダウンファイバーやフェザーファイバーは糸と糸の間のわずかな隙間でも抜け出てくることがあります。そのため、羽毛ふとん用の生地は衣服やカバーで使用している生地よりも密度が高く、生地の目が細かく詰まっているのが特徴です。さらに生地に温度と圧力をかけてプレスし、生地の目を潰して羽毛が抜けにくいように特殊加工してあります。

できるだけ羽毛が抜け出てこないようにする特殊加工はいろいろありますが、もっとも一般的な特殊加工は高温下でプレスをかける加工

で、これをダウンプルーフ加工と呼んでいます。生地の密度を高くして生地の目を詰めると生地は硬くなりやすくなります。また、ダウンプルーフ加工をするとさらに生地の目が動きにくくなるため、生地の風合いは硬くなります。ブラウス地のようにやわらかくないのは基本的に生地の密度が高いためです。風合いを柔らかくして、かつ通気度を小さくするには機能性の高い仕上げ剤と優れた加工機械と優れた加工技術が必要です。生地の呼称が同じでもメーカーや加工場、加工の種類によって生地の風合い、光沢、通気度の耐久性は異なります。

また、生地の織り方や織りの密度や使用する生地の原料（コットン、合繊）の糸の特性になどが価格に影響します。生地の高級（高額）品としては高品質の極細繊維の超長綿や合繊、シルクなどや、これらの素材を複合した生地を使用したものや、特殊な染色技法を施したものが高級生地として使用されています。

ポイント



羽毛ふとん用生地とは・・・羽毛が吹き出しにくいように特殊加工した生地のことです。羽毛が絶対抜けないわけではありません。生地に穴を開けないように注意してください。

- 安全ピンを刺さしたり、生地を縫ったりするとその針穴から羽毛が抜けます。
- カバーのファスナー、洗濯ネットのファスナーなどを引っ掛けないように注意してください
- ペットの爪や牙が引っかかって穴あきや破れを生じないように注意してください。
- 空気を無理やり抜こうとするとミシン目から羽毛が抜けやすくなります。収納する際はゆっくり静かに空気を抜いてください。
- 大量に汗をかいた状態で、もみたたきを繰り返すと中の羽毛も生地も早く傷みますので汗を大量にかいた場合は速やかに陰干しでふとんを乾燥させることをお勧めします。（夏場は冬の羽毛ふとんは使用しないようにしてください）

「鴨と鶏」



羽毛ふとんメーカー「安心堂」の若社長「安心くん」。
羽毛ふとんのことや原料の羽毛の事などを、皆様にわかりやすく解説します。
今回は、この冬、組合の集まりで鴨鍋を食べてふと思った事を…。

それにしても、この間の組合の集まりでは、先輩方から色々教えてもらって勉強になりました。そしてその時食べた鴨の、美味しかった事。

ところで、鴨料理で思い浮かぶものとして、まずは、鴨鍋、次に鴨南蛮、そして鴨吸い、といったところでしょうか、しかし、これらを直ぐに思いつくのは、おおよそ50歳の大台を超えたあたりの人たちからでしょう。今の若い人たちでは、聞いたことはあっても実際に食べたことはないという人が多いのではないのでしょうか。「鴨がねぎを背負ってくる」という言葉は知っているでしょうけど、現実、鴨鍋や鴨吸い、といった料理は鴨料理専門店で見かけなくなりましたし、鴨料理専門店も探すのが難しいというのが現実で、現在主流の居酒屋チェーン店では鴨を使った料理自体が皆無に等しいくらいです。鴨南蛮は今でもそこのそば屋にはありますが、立ち食いそば屋にはありません。若い人たちがそば屋で座ってそばを食べているという姿は、最近では見かけなくなりました。

若者が空腹を満たすところは、もっぱらファーストフード店といったところでしょうか。鴨を食べない若者はいったい何を食べているのかと考えると間違いなくその答えは鶏肉でしょう。それ

も圧倒的に人気なのはフライドチキンです。外食産業チェーンの鳥のから揚げやフライドチキン専門店は大繁盛で、お酒のおつまみは、鳥のから揚げが定番です。中国でも二十数年ほど前には殆ど見当たらなかったフライドチキンのチェーン店が、今では至る所に店を構えていて大勢の若者たちが押しかけ大繁盛しています。

ご存知の通り、羽毛ふとんの原料は鴨や鶯鳥の羽毛です。日本人が鴨肉を食べなくなっても羽毛原料市場に大きな影響は及ぼしませんが、それが中国となるとそう暢気なことは言えません。鴨と鶯鳥の肉が消費されないと羽毛原料の産出量が激減してしまいます。それに加え羽毛ふとんの人気は中国でもうなぎのぼりに上昇しています。原料の供給が減り需要が増えらるとどうなるのでしょうか。結果ははっきりしています。だったら考えても仕方ありません。まずは皆で鴨鍋でも食べに行つて原料供給に協力しましょう。



イメージ